若　　鷲

ホームページ

上野原中学校学校だより
第　２　号

令和７年５月２８日発行

文責　校長　長谷川英信

修学旅行で得た３年生の学び、そして成長！

3年生が5月14日（水）から2泊3日で奈良・京都へ修学旅行に行ってきました。実行委員会の掲げたスローガンは、「楽学両道」～大仏より大きく金閣寺より輝く思い出を～　。学年全員が学び楽しむ旅行にしたいという思いだそうです。そして全員が楽しめる旅行にするために「全員でルールを守ること」を必要条件とし事前の取り組みを始めました。生徒たちは「おやつ」や「食べ歩き」を勝ち取るために学年一丸となって時間や校則を守る点検活動を4月末から取り組み、自分たちで決めたことを自分たちで守れる集団になりたいという強い思いがあったようです。3年生にとってこれまで全員が約束を守ることが徹底できず悔しい思いをした経験があるようです。学年の先生方もこの集団に「自分たちはちゃんとルールが守れたんだ」と実感できる体験をさせてあげたいと強い思いを持っていました。私は、この3年間、学年の先生方が一貫して「約束を守る大切さ」「仲間のために我慢する思い」この学びを3年生に指導してきたことを知っています。「ずるいことは必ずばれるし、仲間を裏切ることになる」、先生や親に怒られるから守るのでないということをちゃんと分からせて、卒業させたいと鈴木主任は話していました。3日間本当にいろいろなことがありましたが、3年生は本当にいい経験をしたと思います。また、大切な大きなことが学べたと確信しています。子どもの成長は「自分が・・」から「仲間が・・」へと思いが変化していきます。中学生になると「自分だけよければいい」「自分だけばれなければいい」この考えから、「自分だけではない」「仲間がいるから我慢する」となります。学校では、子どもたちが社会に出たときに困らないよう、「自分本位の考え方」を改めさせる教育をします。だから集団を仲間を意識させる指導をします。今回、3年生から「みんなに申し訳ない」「先生方が自分たちの間違いを何度も許してくれて関わってくれていることに感謝します」という声を聞いたとき、本当にうれしくなりました。3年生にとっては、あと10ヶ月、もっともっと大人になるための学びをたくさんして大きく成長して3月に卒業していってもらいたいと、鈴木主任と話をしました。

3年生に大きく期待しています。また、3日間体調を崩し別行動になる生徒がいなかったことなど、安全にしかも元気に過ごせたことは、保護者の方々が支援してくださったおかげだと思っています。本当にありがとうございました。　またこれからもよろしくお願いいたします。

令和７年度上中生徒総会が開催！熱い討議を展開しました。

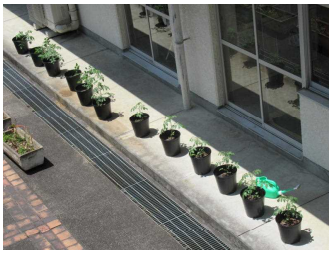
5月9日（金）、午後の時間帯で生徒総会が開催されました。今年度の活動スローガンは、「色合（いろあい）」です。一人一人の個性（色）を認め合いながら、より鮮やかで美しい色にしていく。また、「色合わせ」と解釈し、全校で目標の色を目指していく、そんな願いが込められたスローガンです。さらに、活動重点項目に「挨拶」「清掃」「行事」を掲げ、全校で一丸となって取り組んでいくと会長の小笠原さんが提案していました。議案書については事前に、学級で時間をとり審議して総会に臨んでいるため、学級の意見として多くの生徒から質問・意見・訂正案等が発表され、審議が盛り上がりました。昨年、校則についても生徒会を中心に議論され、生徒たち自身が決めた校則を今年度は守っています。中学生なので、自分の考えや、意見をしっかり持って言えるよう指導していきたいと考えています。そのような意味では、多くの意見がぶつかり合った今回の生徒総会は、新しい上野原中生徒会のスタートして、よかったと思います。まだまだ、1年が始まったばかりです。一人の声が学級の声となり、学校がいい方向に変わっていけるよう、生徒会を盛り上げていってほしいです。委員会・部活動もとても力を入れています。9月に実施する学園祭。生徒の手による最高の生徒会行事にしてもらいたいです。

１学年総合の授業で「地域の歴史」を学びました！

5月19日、26日と1年生の総合の時間で、地域に在住する元校長先生の石井明宏先生を講師としてお招きし、上野原市の地域の歴史・文化・産業等について講義を受けました。1年生は、2学期に甲州街道を散策し、地域に残っている名所を実際に見て学ぶ機会があります。それに向け1学期から取り組んでいます。石井先生は、上野原小学校の勤務経験もあり、とてもわかりやすく、楽しくお話をしてくださいました。クイズもあったりと楽しく学べました。子どもたちには、自分たちの地域にもっともっと関心を持ってもらいたいと思います。そして上野原への郷土愛を育んでいってもらいたいです。

２年生技術科の授業で、トマト栽培を始めました！！

5月20日（火）、2年生の技術科の栽培の単元の授業で、学校の近くに住む、椎茸栽培業の水越誠さんを講師にお招きし、ミニトマトの苗を植えました。上野原中学校はコミュニティー・スクール校であるので、地域の方々に学校に来てもらい、地域の方から学ぶ機会を多く取り入れています。今回、初めてミニトマト栽培に挑戦する3年生に学校の先生以外の地域の方に先生となってもらい、ふれあいながら学ぶ機会を作ることで、より専門的な知識の獲得やコミュニケイション能力の育成を目指したものです。水越さんは、多くの経験や知識を持った方で、丁寧に楽しく指導してくださいました。今後、生徒は水やりや肥料やり、草取りなど自分たちで育てながら学んでいきます。秋には、きっとおいしく実ったミニトマトが収穫できればと思います。みんなでおいしく食べれたら、きっと学びも充実すると思います。



※表題の中のQRコードを読み取り、
是非とも、上野原中のホームページもご覧ください。